

調節池Ⅳ（4.8 km）からベラ村へ向かう主幹水路。地盤は砂利を積み上げた完全な人工盛土の堤体である。ここだけは大量の浸透と用水路基礎地盤が脆弱なため、コンクリート三面掩蔽を採用、基礎を厚くとしている。現地技術者は基礎に対する感覚が薄く、理解を得るのに時間がかかった。2019年3月31日



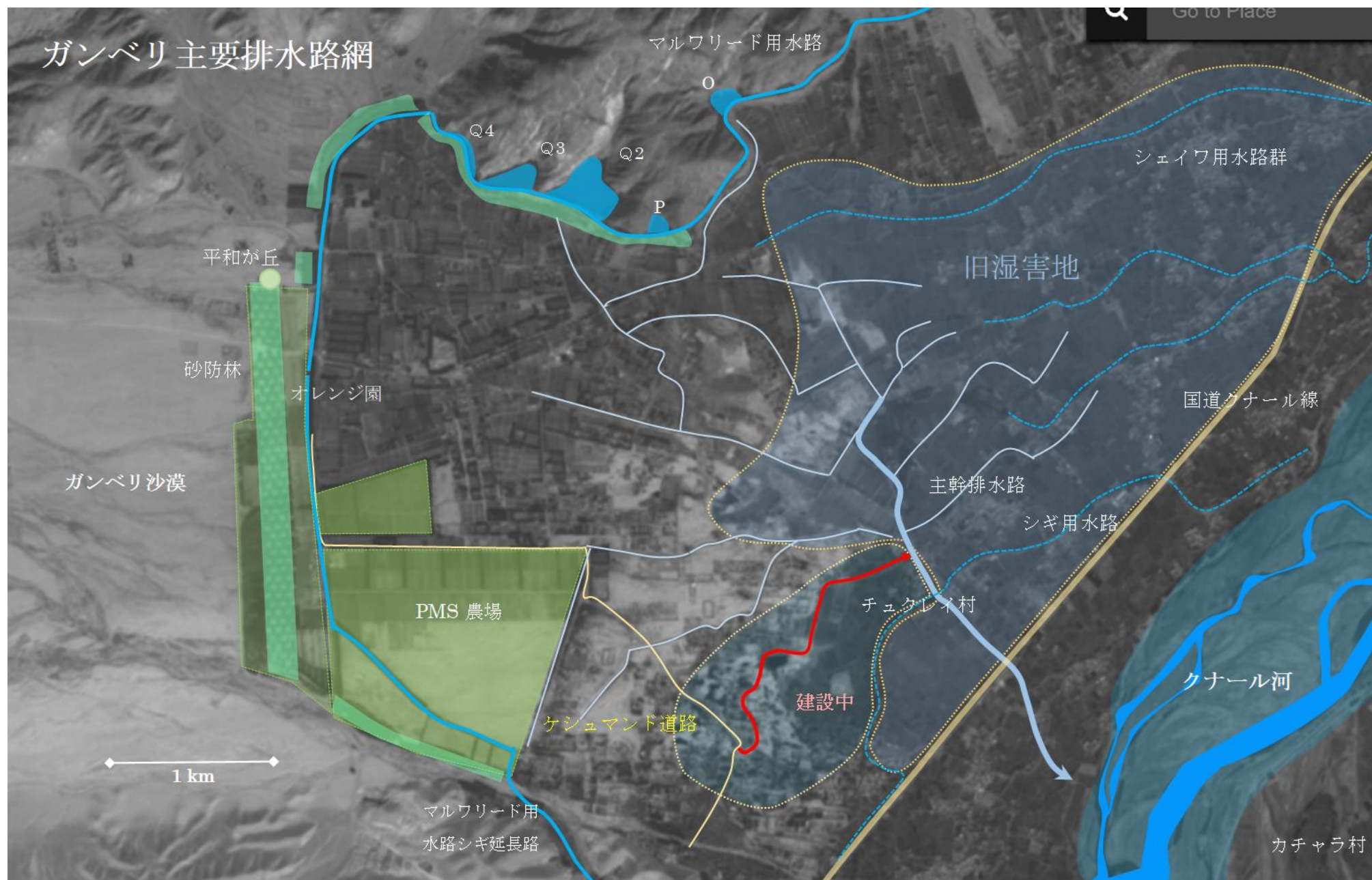
主幹水路終点の 5.5 km地点からベラ村全景を見る。忽然と出現した麦畑の海。彼方はスピンガル山脈。 2019 年 3 月 31 日



堤内は天国でも、堤防一本向こうは水地獄。4～7 kmに設置された水制による根固め工。唯一ともいえる頼みの切り札で、これまで繰り返し紹介した。浸蝕を防ぐものであって、溢水には無力である。しかし、各水制先端に連続して発生する深掘れのため、急流に沿って深い河道が発生して河床が下がり、先端を強化していけばバランスをとって安定するのが普通である。ただし、川幅が狭い時は、必ず拡張工事を行う。2019年3月31日



排水路工事は約 2 km、これで最後の工事となります。地図は最新のものを元に作成しています。



ガンベリ東部下流域はシギ村に属する。5～6年前から村民が勝手に灌漑し始め、旧砂丘の間に浸透水が貯留し始めた。ガズ林が枯死し始め、沼地に変化し始めていた。周辺村落との調整で工事が遅れに遅れていたもの。2019年3月26日



湿地に排水路を新設する仕事は文字通り泥沼で、細砂とドブが混じる最悪の軟弱地盤。湿地処理の実力が試される場所。底なし沼に交通路を敷くのは 600m を 3 ヶ月のペース。2019 年 4 月 2 日

